

## JAPICとは

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際の協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目指して活動して参りました。

現在 37 業種 197 社の企業、地方自治体、団体、NPO 等から構成され、年間延べ 1 万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。



JAPIC会長  
**三村 明夫**

Mimura Akio  
新日鐵住金(株)  
相談役名誉会長

## 開設趣旨

世界は冷戦終結以降、新興国の急成長や情報通信技術の目覚ましい進歩、金融市場のボーダレス化などにより、大交流・大競争時代にシフトしています（グローバル化）。

この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、学部1、2年生を主対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。

具体的には以下の13分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化」、②「資源・エネルギー」、③「インフラ」、④「震災・防災」、⑤「政治・政策」、⑥「産業」、⑦「安全保障」、⑧「金融」、⑨「技術」、⑩「一次産業」、⑪「海外輸出」、⑫「アジア」、⑬「成長戦略」（順不同）

## 学生に期待するもの

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か?」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、大競争時代の事実認識についての強い関心と好奇心、グローバル時代にチャレンジするための備えに取り掛かることを期待します。

**主 催：神戸大学連携創造本部**  
**サポート：神戸大学東京六甲クラブ**



神戸大学研究推進部連携推進課  
**産学官連携グループ**  
連絡先電話番号 **078-803-5427**  
E-mail [ksui-sangaku@office.kobe-u.ac.jp](mailto:ksui-sangaku@office.kobe-u.ac.jp)

# 世界に挑む 産業界・官界・政界トップリーダーによる 連続リレー講座

- 開講テーマ** ▶ **グローバル人材に不可欠な教養～社会基礎学～**
- 開 講 日 時** ▶ 平成26年度後期 隔週土曜日 13:20～16:40(講義日は見開き面)
- 場 所** ▶ 鶴甲第1キャンパス K棟 K202教室
- 科 目** ▶ 全学共通授業科目／総合科目I(学部1,2年生対象)

### 基本 コンセプト

**グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?  
学生は何を学び、何を身につけるべきか?**

産業界・官界・政界のトップランナーがオムニバス形式で講義をします。  
今、企業でどんな人材が求められているのか?学生に何を身に付けてほしいのか?  
土曜の午後も、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。

**2014** 



# 連続リレー講義 平成26年度後期

第1回	リレー講義の意味・意義	◆講義概要◆劇的に変化するグローバル化時代に活躍する人材に不可欠な教養、「社会基礎学」とは何か。この講義で学んで欲しいこと、学生に期待すること、この講義の意義と狙いを紹介する。合わせて、産業界等で活躍する講師たちの顔ぶれや講義プログラム等を紹介する。
<b>10/4</b> (土)	高藪 裕三	◆プロフィール◆1968年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。販売・開発部門を経て経営トップの財界活動補佐、政・官・財界、マスコミ等広く交流。2004年 JAPIC(民間企業会員37業種197社)入社。政策提言シンクタンク「日本創生委員会」企画、運営。本リレー講義主管。福岡県出身。趣味:囲碁、ピアノ演奏。学生時代:真面目な学生運動。
	JAPIC 専務理事・事務局長 筑波大学 顧問	

【パネルディスカッション】	◆講義概要◆劇的に展開する世界のパラダイム・シフト。グローバル化とは、「大交流・大競争」そして「大混沌」であり、日本はその地球規模変動のど真ん中にいる。このリレー講義は、「社会基礎学」〜グローバル化の中の必須教養として、産業人等多分野のトップランナーが豊富な経験、知識を踏まえ、現在と将来を語り、学生と共に考える。
【パネルディスカッション】	◆講義概要◆グローバル化とは、「大交流・大競争」そして「大混沌」であり、日本はその地球規模変動のど真ん中にいる。このリレー講義は、「社会基礎学」〜グローバル化の中の必須教養として、産業人等多分野のトップランナーが豊富な経験、知識を踏まえ、現在と将来を語り、学生と共に考える。
グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?学生は何を学び、何を身につけるべきか?	

## 田邊 弘幸

<div><div><span><span></span></span></div><span> 双日(株) 顧問</span></div>	<div><div><span><span></span></span></div><span> パナリスト</span></div>
◆プロフィール◆1968年日商岩井(株)入社。日商岩井・双日を通して、エネルギー金属資源部門長・専務執行役員、代表取締役副社長・米州総支配人等を歴任、2011年双日(株)顧問に就任。その間米国留学、1998年大学院AMPを修了。日本創生会委員。三重県伊勢市出身。趣味:音楽鑑賞。室内楽を好む。最近なぜか男声合唱団に入団、呻吟を重ねながらもその魅力に取りつかれつつある。★本学出身者	◆プロフィール◆1968年通商産業省入省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構フシントン事務所長、経済産業省産業再生課長、紙業生活文化用品課長、大学連携推進課長、(独)産業技術総合研究所企画副本部長等を経て、東北大学へ出向中。
	東北大学 理事 産学連携担当
	パナリスト
◆プロフィール◆1968年日商岩井(株)入社。日商岩井・双日を通して、エネルギー金属資源部門長・専務執行役員、代表取締役副社長・米州総支配人等を歴任、2011年双日(株)顧問に就任。その間米国留学、1998年大学院AMPを修了。日本創生会委員。三重県伊勢市出身。趣味:音楽鑑賞。室内楽を好む。最近なぜか男声合唱団に入団、呻吟を重ねながらもその魅力に取りつかれつつある。★本学出身者	◆プロフィール◆1986年通商産業省入省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構フシントン事務所長、経済産業省産業再生課長、紙業生活文化用品課長、大学連携推進課長、(独)産業技術総合研究所企画副本部長等を経て、東北大学へ出向中。
	東北大学 理事 産学連携担当
	パナリスト
◆プロフィール◆1997年森ビル(株)入社、不動産開発部を経て、社長室にて都市の魅力づくりのための情報発信としてwebsiteや書籍を企画制作。2007年不動産投資ファンドに転職するもリーマンショックに遭い、再度の転職。2009年より現職。JAPICでは広報やグローバル人材育成委員会の事務局運営を担当。岡山県出身。趣味:野菜料理、ヨガ、都市研究、特技:アラビア書道。	◆プロフィール◆1950年から京都市に在住。1980年農業工学博士課程修了。1977年京大農学部農業工学助手、1984年同助教授。1994年神戸大学に異動、3ヶ月後に阪神淡路大震災を経験。1996年教授に昇任。2005年評議員、2009年農学研究所研究科長(農学部長)を経て、2013年から理事・副学長。趣味：ゴルフ・ワイン、蕎麦打ち。
	神戸大学 理事・副学長
	パナリスト
◆プロフィール◆1997年森ビル(株)入社、不動産開発部を経て、社長室にて都市の魅力づくりのための情報発信としてwebsiteや書籍を企画制作。2007年不動産投資ファンドに転職するもリーマンショックに遭い、再度の転職。2009年より現職。JAPICでは広報やグローバル人材育成委員会の事務局運営を担当。岡山県出身。趣味:野菜料理、ヨガ、都市研究、特技:アラビア書道。	◆プロフィール◆1968年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。販売・開発部門を経て経営トップの財界活動補佐、政・官・財界、マスコミ等広く交流。2004年 JAPIC(民間企業会員37業種197社)入社。政策提言シンクタンク「日本創生委員会」企画、運営。本リレー講義主管。福岡県出身。趣味:囲碁、ピアノ演奏。学生時代:真面目な学生運動。
	JAPIC 専務理事・事務局長 筑波大学 顧問
	コーディネーター

第2回	エネルギー政策が大事な理由	◆講義概要◆エネルギー自給率に乏しい日本では、エネルギー政策が国民生活や産業活動に大きく影響する。そこで、エネルギー政策の重要性について、東日本大震災以降のエネルギー問題の変化、シェールガス開発や海洋開発等の国際動向等を踏まえつつ、足下から中長期のエネルギー政策のあり方を多角的に考える上での基礎知識を講義する。
<b>10/18</b> (土)	藤原 幸則	◆プロフィール◆1980年(株)三菱総合研究所入所、マクロ計量経済モデル分析に従事。その後、大学院(国際法、法学修士)を経て、1986年(社)関西経済連合会事務局 入局。同会では、エネルギー環境、科学技術、経済財政、企業経営等に関する調査研究や政策提言とりまともに従事。2010年より理事に就任。地球温暖化対策の国連会議COP12に2回参加。出身は大阪府。趣味は旅行・絵画鑑賞。
	(公社)関西経済連合会 理事	
	パナリスト	
◆プロフィール◆1997年森ビル(株)入社、不動産開発部を経て、社長室にて都市の魅力づくりのための情報発信としてwebsiteや書籍を企画制作。2007年不動産投資ファンドに転職するもリーマンショックに遭い、再度の転職。2009年より現職。JAPICでは広報やグローバル人材育成委員会の事務局運営を担当。岡山県出身。趣味:野菜料理、ヨガ、都市研究、特技:アラビア書道。	◆プロフィール◆1954年北海道札幌市出身。1979年(株)大林組入社。経理部、人事部、広報室、営業部門等を経て2008年アジア太平洋研究所推進協議会に出向。現在、一般財団法人アジア太平洋研究所事務局次長。	
	(一財)アジア太平洋研究所 事務局次長	
	パナリスト	
◆プロフィール◆1997年森ビル(株)入社、不動産開発部を経て、社長室にて都市の魅力づくりのための情報発信としてwebsiteや書籍を企画制作。2007年不動産投資ファンドに転職するもリーマンショックに遭い、再度の転職。2009年より現職。JAPICでは広報やグローバル人材育成委員会の事務局運営を担当。岡山県出身。趣味:野菜料理、ヨガ、都市研究、特技:アラビア書道。	◆講義概要◆インフラとは、国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設を指すが、一般的には経済の下部構造を指す場合が多い。財・サービスの生産に貢献する資本という意味では、交通・情報通信、エネルギー、上下水道等であり、これらは狭義のインフラを構成する。これに教育・医療・福祉施設等を加えたのが広義のインフラであるが、今回は狭義のインフラの観点から関西の経済成長に寄与するためのインフラ再構築の戦略を考えてみる。	
	パナリスト	
◆プロフィール◆1997年森ビル(株)入社、不動産開発部を経て、社長室にて都市の魅力づくりのための情報発信としてwebsiteや書籍を企画制作。2007年不動産投資ファンドに転職するもリーマンショックに遭い、再度の転職。2009年より現職。JAPICでは広報やグローバル人材育成委員会の事務局運営を担当。岡山県出身。趣味:野菜料理、ヨガ、都市研究、特技:アラビア書道。	◆プロフィール◆1954年北海道札幌市出身。1979年(株)大林組入社。経理部、人事部、広報室、営業部門等を経て2008年アジア太平洋研究所推進協議会に出向。現在、一般財団法人アジア太平洋研究所事務局次長。	
	(一財)アジア太平洋研究所 事務局次長	
	パナリスト	

第3回	震災復興の現状と課題	◆講義概要◆震災日から復興へ、将来にわたり持続可能なまちづくりに向けた釜石市の取り組みを語る。
<b>11/1</b> (土)	野田 武則	◆プロフィール◆震災日から復興へ、将来にわたり持続可能なまちづくりに向けた釜石市の取り組みを語る。
	釜石市長	
	パナリスト	
◆プロフィール◆学校法人野田学園甲東幼稚園園長を経て、2003年に岩手県議会議員に初当選。2007年から現職。震災以降、釜石市の復旧・復興にあたるとともに、岩手県沿岸市町村復興期成同盟会の会長として被災した岩手県沿岸地域全体の復興に向けて活動中。趣味:合気道、居合道、愛犬との散歩。	◆プロフィール◆1971年トヨタ自動車販売(株)(現トヨタ自動車(株))入社。自動車総連副会長を経て1992年参議院議員初当選(現在4期)。民主党参議院幹事長、政調会長等を歴任。政権交代後の2009年経済産業大臣として初入閣。現在、民主党「エネルギー総合調査会長」。大阪府池田市出身。趣味：読書、水泳。座右の銘:初心忘るべからず。 ★本学出身者	
	参議院議員 元経済産業大臣	
	コーディネーター	

第4回	産業の近現代史	◆講義概要◆明治維新後150年。日清・日露戦争を経て第二次世界大戦、バブル、そして現在に至る日本の近現代史を産業からの視点を中心に概説する。加えて、現在における日本企業の強み・弱み、今後のあるべき姿を、国際競争力の視点を踏まえたうえで企業人の立場から論じる。
<b>11/15</b> (土)	門脇 直哉	◆プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理・厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書。
	JAPIC 常務理事	

第5回	日本の安全保障環境と防衛政策	◆講義概要◆昨年12月に我が国最初の「国家安全保障戦略」とともに、新たな「防衛計画の大綱」が策定された。新興国の台頭により国家間のパワーバランスが変化する中、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。これに対して、我が国の新しい安全保障・防衛政策はどう対応しようとしているのか。特別な軍事知識等は不要、時事問題を扱いながら分かり易く解説したい。
<b>11/15</b> (土)	鈴木 敦夫	◆プロフィール◆1985年防衛庁入庁。総理府国際平和協力本部事務局参事官補佐、米国防大学国家戦略研究所客員研究員、防衛局防衛政策課研究室長(兼)調査課情報室長、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官等を経て現職(いずれも当時の名称)。
	防衛省 大臣官房審議官	

第6回	現代の金融システム	◆講義概要◆金融は実体経済を支える一方で、実体経済に大きな影響も与える。今、世界的に見て、金融に何が起きているか概説する。
<b>11/29</b> (土)	吉村 隆	◆プロフィール◆1985年日本銀行入行。IMF出向、ニューヨーク事務所次長、政策委員会企画役を経て、2007年ゴールドマン・サックス証券(株)の現職に就任。日本創生委員。趣味:旅行、オペラ、ゴルフ。座右の銘:天網恢恢疎にして漏らさず。
	ゴールドマン・サックス証券(株) コンプライアンス部門統括 マネージングディレクター	

第7回	日本の農林水産業	◆講義概要◆TPP、FTAの議論が進む中、日本の一次産業はいかにあるべきか?世界の例を見ながら一次産業の成長戦略を考える。
<b>12/6</b> (土)	末松 広行	◆プロフィール◆1983年農林水産省入省。小泉官邸で内閣参事官、農林水産省では環境政策課長、食料安全保障課長、政策課長等を歴任し現職。地方勤務は長崎県諫早市。著書は「食料自給率の「なぜ?」」(扶桑社2008年)等多数。食育、バイオマス・ニッポン、農産物輸出を提唱。埼玉県出身。中高の剣道部から大学時代は音楽に転向。
	林野庁 林政部長	
	パナリスト	
◆プロフィール◆1983年農林水産省入省。小泉官邸で内閣参事官、農林水産省では環境政策課長、食料安全保障課長、政策課長等を歴任し現職。地方勤務は長崎県諫早市。著書は「食料自給率の「なぜ?」」(扶桑社2008年)等多数。食育、バイオマス・ニッポン、農産物輸出を提唱。埼玉県出身。中高の剣道部から大学時代は音楽に転向。	◆プロフィール◆1987年(株)日建設計入社。京セラドーム周辺、なんばパークス開発等の大規模都市開発業務に従事。2008年より(株)日建設計総合研究所にて東アジアを中心に低炭素都市業務に従事。近年は都市開発の「パッケージ輸出の業務に関わることが多く、「日本の得意技とは何か」を強く意識する日々を過ごす。山口県出身。「バスケ」色の学生時代。現在は週一のジム通いで体型維持。	
	(株)日建設計総合研究所 理事 上席研究員	
	パナリスト	

第8回	アジアの成長と日本	◆講義概要◆勃興するアジアの成長を日本に取り込むためには、何をすればよいか。アジアとの緊密な歴史的・地理的・経済的関係を持つ関西の強みを活かして、アジアとの連携を更に強化するために何をすればよいか。環境技術等、関西がアジアの成長に貢献できることは何か。このような論点を、鉄鋼業からの視点も織り込んで示し、それをベースに、討議、整理する。
<b>12/20</b> (土)	奥田 真弥	◆プロフィール◆1976年通商産業省(現経済産業省)入省。基礎産業局鉄鋼課長、製造産業局次長、地域経済産業審議官等を歴任。2007年～2011年間経連専務理事。2008年より住友金属工業(株)で常務執行役員、取締役専務執行役員を歴任。2012年10月新日鐵住金(株)発足より現職就任。神戸市出身。趣味:古宝飾品鑑賞、歴史に名高い地を一人静かに散策すること。
	新日鐵住金(株) 常務執行役員 大阪支社長	

第9回	【パネルディスカッション】日本経済を考える～日本は、何でメシを食っていくのか?	◆講義概要◆21世紀に入り世界の警察官であることを放棄した米国、存在感を大幅に増した中国の存在、混迷する中東情勢、政治的にも不安定なアフリカ、等極めて流動的な世界情勢の中で日本は何処に活路を見出せば良いのか。経済的にも中国を始めとする発展途上国の急速な成長は驕りを見せ始め、先進国の相対優位性が喧伝されている中で、国際間の競争は益々厳しさを増している。日本の取るべき進路と生き残り策は如何に?
<b>12/27</b> (土)	開本 亮	◆プロフィール◆1980年、原子核修士修了後、日立製作所を経て、1981年島津製作所に入社。同社中央研究所等を経て、産業用X線透視・CT装置のビジネスユニット統括部長。この間、特許権を侵害される経験をし、弁理士取得後、知的財産部に異動し、侵害訴訟等に従事。その後、同志社大学等を経て、2014年神戸大学知財部門に着任。同法学修士(知的財産法専攻)、同MBAでもある。広島県出身。趣味:海釣り。 ★本学教員
	神戸大学 連携創造本部 教授	
	パナリスト	
◆プロフィール◆1980年、原子核修士修了後、日立製作所を経て、1981年島津製作所に入社。同社中央研究所等を経て、産業用X線透視・CT装置のビジネスユニット統括部長。この間、特許権を侵害される経験をし、弁理士取得後、知的財産部に異動し、侵害訴訟等に従事。その後、同志社大学等を経て、2014年神戸大学知財部門に着任。同法学修士(知的財産法専攻)、同MBAでもある。広島県出身。趣味:海釣り。 ★本学教員	◆プロフィール◆1982年武田薬品工業(株)入社。生活習慣病治療薬の研究開発に従事。2006年より創業研究所長および医薬研究本部長を務め、研究活動のグローバル化を推進。米、英およびシンガポールに枝研究所を設立。この間、日本バイオインダストリー協会や経済同友会等に参加。2014年から現職。埼玉県出身。学生時代はラグビー部。 ★本学教員	
	神戸大学 連携創造本部 教授	
	パナリスト	

第10回	総括	◆講義概要◆これまでに開催された講義全体を振り返り、世界の中の日本の位置づけを多面的に整理しながら、日本人の強みや弱み等の特性を考察する。また、学生それぞれが今後の専門分野で出会うグローバル化とそこで活動する場面を想定させる。
<b>11/10</b> (土)	小高 裕之	◆プロフィール◆1982年武田薬品工業(株)入社。生活習慣病治療薬の研究開発に従事。2006年より創業研究所長および医薬研究本部長を務め、研究活動のグローバル化を推進。米、英およびシンガポールに枝研究所を設立。この間、日本バイオインダストリー協会や経済同友会等に参加。2014年から現職。埼玉県出身。学生時代はラグビー部。 ★本学教員
	神戸大学 連携創造本部 教授	